

令和 2年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策担当

内線：4122

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
A1	さいたま食と農林業の祭典開催事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	彩の国農林業の祭典開催費	
事業期間	昭和37年度～	根拠法令	なし				宣言項目	09 儲かる農業の推進	
							分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業概要 本県農林業の振興を図るため、消費者である都市住民の本県農林業に対する理解を深める必要がある。このため、「彩の国食と農林業の祭典」の開催を支援し、都市と農村の交流や本県農林業・農産物等に対する理解の促進を図るとともに埼玉農業大賞の表彰を行う。また、農業者の技術改善及び経営発展の意欲高揚を図るため「全国農林水産祭」に参加する。 (1) 彩の国食と農林業の祭典 祭典事業の中止による減額 $\Delta 2,500$ 千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉農業大賞表彰 66 千円 明日の農林業の模範となる農業者を選考し表彰する。 イ 彩の国食と農林業の祭典 $2,500$ 千円 「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」を開催する。 ウ 農林水産祭事業 428 千円 国と(財)日本農林漁業振興会が主催する農林水産祭に参加する。 (2) 事業計画 ア 埼玉農業大賞表彰 それぞれの部門に該当する農業者を選考し、11月に開催する「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の式典の中で表彰する。 ・農業ベンチャー部門：新規性、独創性のある技術を持ち今後大きく飛躍が見込まれる農業者。 ・地域貢献部門：地域農業の振興や活性化に功績を上げており、将来の本県農業の模範となる農業者。 イ 彩の国食と農林業の祭典 11月の土、日の2日間、県内の公園等において「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」を開催する。 ウ 農林水産祭事業 11月の金、土の2日間、東京都内で開催される「実りのフェスティバル」や表彰事業に参加する。 (3) 事業効果 都市と農山村の交流が促進され、本県農林業に対する消費者の理解が深まる。食と農林業に対する安心と信頼が確保されるとともに、農業者の生産意欲を喚起できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 農業団体と連携して各事業を実施している。 (5) 補正予算の概要 「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の中止による減額 $\Delta 2,500$ 千円					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円 $\times 0.3$ 人 $=2,850$ 千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 2,500$						$\Delta 2,500$	494	
現計額	$2,994$						$2,994$		